

本学における「大学スポーツ振興」推進に関する課題

①（スポーツ局）と既存部署との連携による事業成果の創出

②地域社会における事業推進や活性化への貢献

以下の2つの施策を通じ、具現化と展望を企図する。

学生アスリートのキャリア形成支援

大学スポーツ振興を通じた地域貢献、地域活性化

＜本学のキャリア形成支援＞

- 単なる就職活動スキルにとどまらず、「意識付け」「基礎学力」を含む社会人としての「基礎力形成をはかる」プログラム
- 学生アスリートの試合やトレーニング予定などにも配慮した個別の対応や展開

＜本学のデュアルキャリア支援＞

- 中高大を経て、スポーツ界に資する高度専門人材としての教育や活動も続ける体制や組織が現有
- 卒業生には、多才な人材が豊富。中高生までも対象とした卒業生の講演や研修会を企画するなどのキャリア形成支援

【方策1】

スポーツ局とキャリア支援部及び浪商中高など関連部署との連携によるデュアルキャリア支援体制についての検討・設計

【方策2】

デュアルキャリア支援を念頭においた研修プログラム

＜事業の成果を高める効果的な工夫＞

- 「スポーツキャリアサポート推進戦略 アスリートキャリアアドバイザー育成研修プログラム」で得た「デュアルキャリア」に係る様々な知見や他学とのネットワークなどを活用
- 全国体育スポーツ系大学就職担当者連絡協議会が有する知見や情報なども活用

（両事業の効果的な推進）

- ① 本事業の取り組みを、「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）」の創設一助となるよう情報提供など積極的に取り組む。
- ② 他学の取り組みなどを踏まえ「大学スポーツの振興」の様々な在り方を討議、共有を目的とした平成29年度「大学スポーツの振興」採択8校などによる「（仮称）大学スポーツアドミニストレーター（SA）会議の企画・開催

大体大ビジョン2024【拠点づくりビジョン】

体育学・スポーツ科学・教育学の研究・実践・人材の力を活かし、地域社会の活性化に貢献する拠点、および、世界で活躍するアスリートと指導者を育成・サポートする拠点となる

＜熊取町との連携事業＞

- ① 運動・スポーツの推進
- ② 健康寿命延伸や医療費等の削減に向けた取り組み
- ③ 運動・スポーツ等施設の共同利用の検討
- ④ 職員による人事交流の検討
- ⑤ 新たな施設・環境整備の検討

【方策】

2018年3月2日の連携協定に基づき「熊取町×大阪体育大学 “DASHプロジェクト連絡協議会” を創設、必要に応じて作業部会も進行しながら、連携事業の検討・企画・推進調整を図る。他自治体とは、スポーツ局が中心になり現行施策の整理や検証を図り、大体大ビジョン2024に照らし、各施策の充実と更なる展開を推進する。

＜事業の成果を高める効果的な工夫＞

今春から創設され、本学も正会員である「一般社団法人 大学スポーツコンソーシアムKANSAI」とも連携・協力をしていながら、本学のみならず広く「大学スポーツの振興」に資する展開を図る